

持続可能な社会の実現に向けて
世界の目標に地方から取り組む

静岡市環境基本計画

意見募集

募集期間

令和4年 令和5年
12/6(火)~1/10(火)

人と自然が共生し、将来にわたり豊かな営みを続けられるまちの実現に向けて



私たちの静岡市は、静岡県の中核都市として機能する一方、高峰が連なる南アルプスから三保松原の白砂青松に象徴される駿河湾に至る広大で多様な環境を有しています。これらの豊かな環境は、市民生活の源泉として、賑わいのあるまちの基礎となり、誇るべき財産となっています。

静岡市では、このかけがえのない環境を将来の世代に引き継いでいき、持続可能な社会を実現するため、「第3次静岡市環境基本計画(案)」を策定しました。

計画案について、ぜひ、市民の皆様のご意見をお寄せください。

静岡市環境基本計画とは (本編第1章) P6

- ・静岡市環境基本計画は、本市の自然的社会的条件に応じた環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定するものです。市民・事業者・市それぞれが担うべき役割を明らかにし、様々な主体が連携・協働しながら積極的な取組を推進することを目的としています。
- ・2006年に第1次計画を策定しました。現在は、2015年度から2022年度までを計画期間とする第2次計画を推進しています。第3次計画は、2023年度から2030年度までの8年間を計画期間とします。



第2次静岡市環境基本計画（2015～2022）の成果（現状と課題）

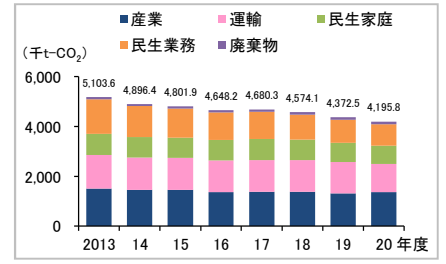
● 数値目標の達成率は、67%でした。（関連記載P30）

一部の目標が達成困難ではあるものの、全体としては、目標に向け順調に推移しました。

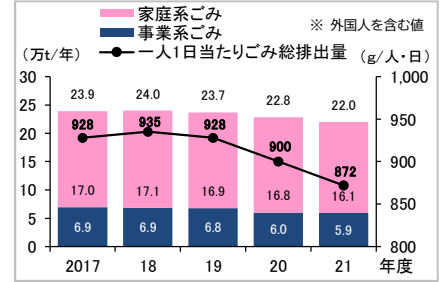
第2次計画の数値目標の達成状況

環境指標		基準値 (2017年度)	現状 (2021年度)	最終目標 (2022年度)	達成 状況
生活環境	①事業者の公害法令順守率	91.3%	91.8%	92.0%	●
	②文化財保護事業に携わる市民ボランティア数	101人	163人	150人	◎
	③市民一人当たりの都市公園面積	6.3㎡/人	7.0㎡/人	8.0㎡/人	×
	④生活排水処理率	83.4%	86.4%	86.9%	●
自然環境	⑤南アルプス主要地域の高山植物種数	13種	15種 (2022)	15種	◎
	⑥河川環境アドプトプログラムの登録団体の延べ活動回数	86回	65回※1	100回	×
地球環境	⑦省エネルギーに取り組む市民の割合	57.8%(2018)	65.2%	62.4%	◎
	⑧再生可能エネルギーの導入割合（2013年度電気使用量比）	23.2%	24.2%	24.4%	●
	⑨分散型エネルギーを確保した住宅の割合	18.3%(2018)	50.9%（参考値）	20.0%	●
	⑩気候変動に対応するための体制整備	庁内勉強会・施策整理	熱中症警戒アラート周知	整備	●
循環環境	⑪一人1日当たりのごみ総排出量	928g/人日	928g/人日※2 (2019)	856g/人日	×
	⑫最終処分場への埋立量	9,126t/年	8,395t/年	7,710t/年	×

注) 達成状況：◎達成(2022(令和4)目標年度) ●概ね達成(目標に対し進捗が7割以上で傾向が継続している) ×未達成 -中止
 ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの団体が清掃活動を中止したため。
 ※2 2020(令和2)年度及び2021(令和3)年度は新型コロナウイルス感染症による影響を受けていると考えられるため、現状値は2019(令和元)年度を採用します。



本市域からの二酸化炭素排出量の推移
【資料：環境創造課】



ごみ総排出量と一人1日当たりごみ総排出量
【資料：清掃事業課、一般廃棄物処理実態調査】

【地球環境】 (関連記載P12)

4指標すべてが達成または概ね達成し、温室効果ガス排出量も基準年度から14.3%削減でき、第2次静岡市地球温暖化対策実行計画で掲げた“2022年度までに10%削減”目標を達成しました。

➡ 一方、気候変動対策の国際的枠組みを決める「パリ協定」が2016年に発行され、2050年カーボンニュートラルという新たな世界共通の目標に向け、さらなる削減が求められています。

【循環環境】 (関連記載P17)

ごみ総排出量は減少傾向にあるものの、未だ全国平均(901g)や静岡県平均(858g)より多く、また、コロナ禍による産業活動停滞等の影響を除くと、減少割合は近年伸び悩んでいます。

➡ 2022年に施行された「プラスチック資源循環法」に係るプラスチックごみの分別回収等も含め、ごみ総排出量の削減に向けた一層の取組が求められています。

● こんな成果もありました。

【市民意識】 (関連記載P32)

身近な環境に対する満足度や、環境に対する問題意識は高まっています。

➡ 一方で、環境保全活動や自然体験の実践率に結びついていない状況です。

【協働・共創】 (関連記載P27)

企業や市民団体等との啓発活動の実施などを通し、各主体とのパートナーシップ構築が進んでいます。

➡ 意識や行動の面で市民間に二極化が見られ、市民団体の中には担い手の不足等から活動の持続可能性が懸念されるものもあります。

【フィールド】 (関連記載P20)

南アルプスユネスコエコパークや、「未来につながる、緑のあそび場」をコンセプトにオープンした「あさはた緑地」など、次世代に残す環境保全フィールドの整備・保全が進んでいます。

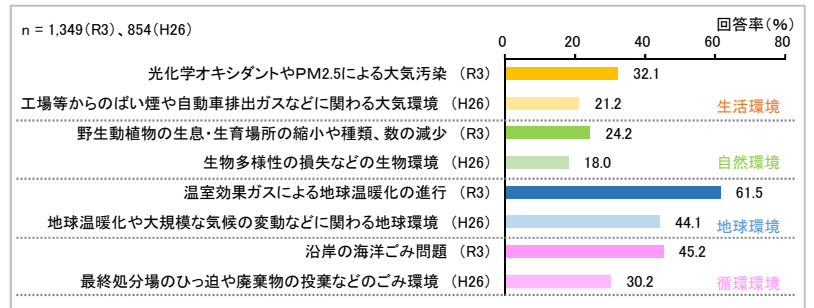
➡ 市民参加型自然調査や、地域の賑わい創出につながる取組など、一層の活用が求められます。

【市の存在感】 (関連記載P36)

国内における本市環境行政の存在感が向上しています。特定外来生物「アルゼンチンアリ」の地域根絶は、都道府県単位での根絶として国内初の事例となりました。また、「SDGs未来都市」や「脱炭素先行地域」への採択など、国から大きな期待も寄せられています。

➡ 30by30など新たな取組への参加、国際会議も含めた各種会議における情報発信等も行い、本市の存在感や求心力を高めていくことが求められます。

※30by30…2030(令和12)年までに陸と海の30%以上を保全しようとする目標。国は、2021(令和3)年のG7サミットにおいて、30by30目標に取り組むことを約束しています。



市民意識調査「環境問題について関心のあるもの」の比較(2021(令和3)と2014(平成26))
※質問項目は抜粋して比較【資料：静岡市環境基本計画 市民意識調査】



環境保全団体による里山整備の様子



あさはた緑地

第3次静岡市環境基本計画（2023～2030年度）の概要

今後の環境政策の展開に向けて（本編第2章）P37

- ・第2次計画を通し、特定分野における市民や企業等とのパートナーシップが進んできています。今後も、さらに重層的なものへと発展させていくため、**多様な主体が協働・共創した取組の推進**が求められています。
- ・工業や商業が厚く集積した本市にあっては、ビジネスを通じた環境問題の解決も期待でき、すでに、その萌芽を見ることもできます。「持続可能」をキーワードとした社会の構築に向けて、**脱炭素ビジネス**をはじめとした、**経済・社会・環境の側面を統合した取組の推進**が求められています。
- ・SDGsやカーボンニュートラル、30by30など、国際社会や日本政府が行う取組に積極的に貢献し、本市の存在感や求心力を高めることで、本市のまちづくりの目標『**世界に輝く静岡**』を**実現**させることが求められています。

第3次計画の体系図（目指す姿と5つの取組方針、16の環境目標）（本編第3章）P39～

目指す姿 人と自然が共生し、将来にわたり豊かな営みを続けられるまちの実現

取組方針1（関連記載P40、44～47）

経済と環境が両立した地域脱炭素の基盤整備を進めます



- 01 省エネルギーの推進
- 02 再生可能エネルギーの拡大
- 03 エネルギーの高度利用化
- 04 気候変動への適応

関連する個別計画

地球温暖化対策実行計画

キーワード

脱炭素ビジネス 静岡型水素タウン 森林・海の吸収源対策

進捗指標	現状値	2030目標値
① 温室効果ガス排出量削減率（2013年度比）	14.3%	51.0%
② 電力消費量に対する再生エネルギーの割合	25.2%	50.0%
③ 次世代自動車（EV、PHV、FCV）の普及台数	2,054台	10,000台
④ 市民の気候変動への「適応策」の認知度	25.3%	40.0%

取組方針2（関連記載P40、48～49）

循環型社会を目指した廃棄物政策を推進します



- 05 廃棄物の減量に向けた協働の推進
- 06 安定的な廃棄物処理体制の確保

一般廃棄物処理基本計画

産業廃棄物処理対策推進方針

食品ロス プラスチックごみ 熔融スラグ 河川海岸清掃

進捗指標	現状値	2030目標値
① 一人1日当たりのごみ総排出量	928g/人・日	783g/人・日

取組方針3（関連記載P41、50～53）

生物多様性への理解・浸透を図り、保全・再生を拡大します



- 07 人と生きものが共生するまちづくり
- 08 自然を身近に感じ、親しむまちづくり
- 09 環境への関心・関与を継続するまちづくり
- 10 生物多様性に配慮したまちづくり

南アルプス生態系コルパーク
管理運営計画（静岡市域版）

生物多様性地域戦略

南アルプス・駿河湾 放任竹林 自然体験 外来種

進捗指標	現状値	2030目標値
① 南アルプスの主要地域の高山植物種数	15種	15種
② 竹破碎機の延べ貸出回数	76回	80回
③ 河川環境アドプトプログラムの登録団体の延べ活動回数	69回	100回
④ 水生生物調査（水のおまわりさん）の参加者数	1,177名	1,200名

取組方針4（関連記載P41、54～57）

住み良さを実感できる生活環境をつくります



- 11 安心安全な生活環境の確保と充実
- 12 良質な水環境の保全
- 13 緑あふれる美しいまちの創出
- 14 歴史・文化とふれあう機会の充実

しずおか水ビジョン

景観計画

みどりの基本計画

文化振興計画

大気汚染等対策 みどりと水辺のネットワーク 三保松原

進捗指標	現状値	2030目標値
① 事業者の公害法令順守率	91.8%	93.0%
② 生活排水処理率	86.4%	92.6%
③ 市民一人当たりの都市公園面積（都市計画区域）	7.0㎡	7.4㎡
④ 静岡市は歴史・伝統文化や地域の魅力が感じられるまち だと思ふ人の割合	58.9%	70.0%

取組方針5（関連記載P42、58～59）

環境教育を通じて、多様な主体の連携・協働をつくります



- 15 環境教育の活動支援と次の担い手の育成
- 16 各主体の連携・協働の創出

環境教育行動計画

CSR・CSV 学校等への環境学習支援 環境大学 情報発信

進捗指標	現状値	2030目標値
① ウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」の閲覧数	43,365件	70,000件
② 環境学習指導員派遣事業の派遣人数	188人	220人
③ 環境に関するボランティア活動参加割合	17.2%	18.2%

第3次静岡市環境基本計画（2023～2030年度）の概要（続き）

重点プロジェクト（「多様な主体の協働・共創」「経済・社会・環境の側面の統合」をけん引する代表的な取組）

（本編第5章）P60

1 脱炭素先行地域整備促進プロジェクト



太陽光発電設備

- ・脱炭素先行地域の整備促進
- ・グリーン水素の利活用促進
- ・PPAによる太陽光発電の余剰電力地産地消モデルの確立

※PPA…「第3者モデル」とも呼ばれ、PPA事業者が需要家（企業や個人等）の敷地や建物のスペースに無償で太陽光発電設備を設置・維持管理して、電気を供給する仕組み

2 ごみを減らそう！静岡版「もったいない運動」プロジェクト



しずもーる沼上での体験学習

- ・プラスチックごみの削減
- ・市民、事業者、市の3者連携の強化によるごみ減量
- ・事業系ごみの新たな再資源化手法への誘導

3 身近な緑地での環境教育推進プロジェクト

- ・自然ふれあい機会の創出
- ・放任竹林対策事業のモデルの確立



市民参加による生きもの調査

4 市民参加型南アルプス保全活用プロジェクト

- ・市民参加型の自然環境調査の仕組みの構築、実施
- ・自然保護活動を核とした環境学習ツアーの造成、展開
- ・新たな開発等を見据えた事業展開



高校生による高山植物保護活動

ご

意

見

・

ア

イ

デ

ア

お待ちしております！

目標達成に向けてみんなで取り組めること、
「市民・事業者の取組」

について、ぜひアイデアをください！！

人と自然が共生し、将来にわたり豊かな営みを続けられるまちを実現するためには、市民・事業者・市それぞれの取組や、連携・協働した取組が大切と考えています。

この基本計画（案）では、16の環境目標を掲げ、それぞれに期待される取組を記載しました。

「私は、こんなことに取り組むよ！」「こんな取組が進んで欲しい！」など、みなさんのアイデアをお待ちしています！



生きものを観察したり自然を守る活動に、子どもと気軽に参加できるイベントがあったらいいな！



同じように活動している保全団体の方々と情報交換できる場がほしい！



例えば木のストローなど、自社の強みを生かした製品を開発し、SDGsと絡めた取組を市と一緒にやりたい！

意見募集用紙はこちら

第3次静岡市環境基本計画の本編と概要版が閲覧できます。

- (1) 環境創造課（静岡庁舎 新館13階）
- (2) 各区役所の市政情報コーナー
葵区：静岡庁舎新館1階 駿河区：駿河区役所3階 清水区：清水庁舎4階
- (3) 各生涯学習センター及び生涯学習交流館 ※概要版のみ
- (4) 静岡市ホームページ（https://www.city.shizuoka.lg.jp/041_000001_00017.html）
※右のQRコードまたはホームページからアクセスしてください。

第3次静岡市環境基本計画 パブリックコメント

検索



ご意見の提出方法

募集期間内に、次のいずれかの方法で意見応募用紙をご提出ください。

1. 郵送	〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 環境創造課 あて
2. ファクシミリ	FAX番号 054-221-1492
3. 持参	環境創造課（静岡庁舎 新館13階）
4. 電子申請	市ホームページにある応募専用フォームでご提出ください。

